



Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 卷 36 号
2018 年 5 月 10 日

● クラブテーマ ●
クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■
■地区米山記念奨学委員会委員長 寺戸常剛様■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1274 例会 会長挨拶◆◆

今日は、卓話の時間に第 2620 地区米山記念奨学委員会委員長の寺戸常剛氏にお願いして、米山記念奨学会の制度等について説明して頂きますので、会長の時間ではその前座としてのお話をさせていただきます。

米山奨学事業は、日本初のロータリークラブの創立に貢献した米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年、東京ロータリークラブが、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業「米山募金」の構想をしました。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いがありました。この事業は、わずか5年の間に日本全国のロータリークラブの共同事業へと発展し、1967年には、文部省（当時）を主務官庁とする「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立される運びとなりました。昨年財団設立50周年を迎えました。この様な歴史を持ち、RIから認証を受けた日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動です。現在も、「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」という思いを込めて運営されています。

私なりに、1940年世界大戦の余波でRIからの脱退を余儀なくされ、何とか1949年に復帰加盟に漕ぎ着けたものの、米山梅吉がその復帰前の1946年に亡くなっていた無念を察しての「米山募金」であったらと思うています。

後ほど、寺戸氏から詳しい説明をお聞きして、幸いにも鈴木会長エレクトが興味を持っておられま

すので、まだ世話クラブの経験の無い当クラブとして方向付けることが出来ればと思います。

5月のプログラム

1275回 12:30 5月17日(木)	ニューウェルサンピア沼津 ガバナー補佐期末訪問
1276回 12:30 5月24日(木)	ニューウェルサンピア沼津 会員卓話 鶴田龍聖君
1277回 12:30 5月31日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会⑤ 次年度活動計画

6月のプログラム

1278回 12:30 6月7日(木)	ニューウェルサンピア沼津 会員卓話 クラブ管理運営
1279回 12:30 6月14日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ管理運営 現理事会 新理事会
1280回 12:30 6月21日(木)	ニューウェルサンピア沼津 1年を振り返って 会長・幹事
1281回 18:30 6月28日(木)	ニューウェルサンピア沼津 さよなら例会 夜間例会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告（会員総数 28 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1274 回	28 名	19 名	-	70.37%
1272 回	28 名	20 名	3 名	88.46%

●ゲスト

1. 地区米山記念奨学委員会委員長 寺戸常剛様

●欠席者（ 8 名）

頼川ゆう子、久松 但、本村文一、成田みちよ、重光 純、鈴木和憲、土屋昌之、鶴田龍聖

●他クラブへの出席者

重光 純(5/1 沼津北RC)

●スマイル報告 本日のスマイル（ 12,000円 ）

1. 寺戸常剛様：「卓話の御礼」をスマイルで頂きました。
2. 山本宜司：寺戸様、本日、卓話を宜しく申し上げます。
3. 内田逸美、4. 山田和典：入会記念日のお祝いありがとうございます。

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾栄一

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①新富士RC 5月15日(火) 職場訪問 富士山かくや姫ミュージアム

2. 連絡事項

- ①本日は、理事会がありますので、理事の方は出席をお願いします。
 ②5/31のクラブ協議会の次年度活動計画の原稿を、次週17日までに、事務局まで提出してください。
 ③5/13(日)の千本浜海岸清掃に参加の方は、9時30分集合です。沼津西RCのジャケットを着用してください。
 ④ガバナー事務局より。5月のロータリーレートは、1ドル=108円です。
 ⑤沼津柿田川RCは、2018年7月1日より、例会日を月曜日から水曜日に変更します。例会場・例会時間・事務局は、変更ありません。

1. 報告事項

千本浜海岸清掃参加者について
 特別支援学校は、都合がつかず不参加となりました。

2. 協議事項 クラブ管理委員長

鈴木和憲 君 代理 山本宜司幹事 承認

- ②6月2日(土) 新旧会長幹事会の件
 ・新会長・幹事 会費・旧会長・幹事 会費なし
 ・於：沼津リバーサイドホテル 承認

外部卓話



ロータリー米山記念奨学事業
 国際ロータリー第2620地区
 米山記念奨学委員会 委員長 寺戸常剛様

1. 米山記念奨学事業

終戦翌年の1946年「日本のロータリーの父」米山梅吉氏が亡くなり3年後の1949年、戦争のため解散を余儀なくされた日本のロータリーが、国際ロータリーへの復帰を果たします。戦後の落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやるうではないかという声が大きくなってきました。

1952年、東京RCの古沢文作会長が「米山基金」の構想を発表し、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を肌で感じてもらい、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目

指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

こうして、東京RCが始めた「米山基金」は、わずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

2. 世話クラブ・カウンセラー制度

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。奨学生一人ひとりに地域のクラブが「世話クラブ」となり、世話クラブ会員の中から「カウンセラー」が選ばれて、奨学生の日常の相談役になります。奨学生はクラブの例会や地域の奉仕活動、日本の実業家・専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、より深く日本を知り、ロータリーが求める平和の心を学びます。

今年では854人、2018年4月現在の累計で、世界127の国と地域から20,398人を支援しています。これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大で、今後、海外からより多くの留学生を受け入れようとする日本の政策にも大きく貢献しています。

当地区では今年度、中国 13人・ベトナム 6人・インドネシア2人・パキスタン1人・マレーシア 1人・バングラデシュ 2人、計25人の奨学生を受け入れています。

3. 奨学生の選考

現在2620地区は、山梨県5校・静岡県9校 計14校の指定校が有り指定校の中で10月の締切に合わせて奨学生の候補者が推薦されます。推薦された学生を地区から委嘱を受けた面接官が面接をして合格者を決めております。合格の倍率は、全国平均で約3倍です。

当地区では、国籍が偏らないように推薦してほしい、など要望を出しております。

4. 寄付について

米山への寄付金は大きく分けて2種類があります。「普通寄付金」と「特別寄付金」当地区は、普通寄付4,000円特別寄付12,000円が地区の目標額です

5. 米山学友会

米山奨学事業の唯一最大の財産は、学友です。巣立った奨学生です。学友会はいわばOB組織ですが、日本国内に33、海外には台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマーと、9つの学友会があります。

巣立った学友の活躍と、交流によって育まれた絆は、この事業の最大の成果であるといえます。国際交流がすぐ平和に結びつくわけではありません。うまく交流できない奨学生もいます。しかし、この地道な、一人一人と絆をつむいでいく活動を日本のロータリアンは60年以上続けてきました。そしてその成果は確実に出ています。

日本のロータリアンたちが受け継いできた米山記念奨学事業は、今を生きるわれわれロータリアンの誇りです。先輩たちがつないできた米山の灯を米山のたすきを次の世代に伝えていきたいと思ひます。

-----4月分出席一覧 -----

額川 (2)	久松(3,1)+1	井上 (3)	神尾 (2, 2)	宮口 (3)	宮島 (④) +3	本村 (3)
永井 (3, 1)	名古(④)	成田(2, 2)	芹澤和(④)+2	芹澤真(④)+1	重光(3, 1)+2	下原(3, 1)
杉山 (④)+1	鈴木博(④)	鈴木和(④)+3	鈴木良(2,免除)	田村(3,1)+1	土屋 (3)	鶴田(3, 1)
内田(休会)	植松 (④) +1	上野 (1, 1)	渡邊勝(3, 1)	渡邊亀((3,免除)	山田 (1, 3)	山本(④)+1
			例会出席%	78 . 10 %	地区報告%	91 . 43 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 卷 37 号
2018 年 5 月 17 日

● クラブテーマ ●
クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■
■ ガバナー補佐期末訪問 ガバナー補佐 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1275 例会 会長挨拶◆◆

先月のロータリーの友4月号の紹介の中で、「メークアップのすすめ」がありましたが、今日は、「出席条件の60%ルールが何故出来たのか」についてお話しします。

これは、アメリカ辺りで行われていた「出席競争」のためのルールでした。国際ロータリーは昔、ロータリアンに出席の大切さを理解させるためには、ロータリアンに例会主席の競争をさせたら良いだろうと考えました。

この競争は、アメリカとカナダという様に非常に広い地域を単位として行われ、国際ロータリーが行事役を務めるのでありますが、日本はこの競争に参加したことはありません。

ところで、競争でありますからそれはフェアでなければなりません。例えば会員数100名のクラブで1名欠席すると出席率は1%減少しますが、25名のクラブでは4%減少して出席率は96%になります。従って、これは不合理だということで、会員数によってグループ分けをしました。会員数50名から75名のクラブ、会員数75名から100名のクラブという様に、グループ分けをして競争させました。

そこで、次は出席の基準であります。例会に60分在席しても出席、5分しか在席しなくても出席というのでは、どのクラブも自分のクラブの為に、1分しか在席しなくても出席と取り扱う恐れがありました。これではフェアな競争は出来ないので、恨みっこなしのルールとして、例会時間の60%在席すれば出席、それ未満であれば欠席としました。従ってこれはロータリアン不信を前提としたルールであり、あくまでも競争のルールなのです。

毎週の例会は自己研鑽の場、心を磨く処なのであります。競争をするために出席しているのではないので、競争の原理を定款上のルールとして採用していったところに問題があるのではないのでしょうか。

私は、メークアップに伺った例会には最後まで在席

する様にしています。せっかく他クラブの例会に出席したのでありますから、途中退席はもったいなく思います。皆さんは如何でしょうか。

5月のプログラム

1276 回 12:30	ニューウェルサンピア沼津
5月24日(木)	会員卓話 鶴田龍聖君
1277回 12:30	ニューウェルサンピア沼津
5月31日(木)	クラブ協議会⑤ 次年度活動計画

6月のプログラム

1278 回 12:30	ニューウェルサンピア沼津
6月07日(木)	会員卓話 クラブ管理運営
1279 回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 会員卓話
6月14日(木)	クラブ管理運営 現理事会 新理事会
1280 回 12:30	ニューウェルサンピア沼津
6月21日(木)	1年を振り返って 会長・幹事

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 28 名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1275 回	28 名	24 名	-	85.71 %
1273 回	27 名	21 名	4 名	92.59 %

●ゲスト

- 静岡第3分区太田昭二ガバナー補佐：沼津柿田川RC
- 静岡第3分区安本晋ガバナー補佐事務局代理
：沼津柿田川RC

●ビジター

- 實石 学様：沼津RC
- 大石昭裕様：沼津柿田川RC

●欠席者(4 名)

井上武雄、本村文一、上野祥行、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

久松 但、宮島賢次、本村文一、永井克彦、名古屋輔、成田みちよ、芹澤和子、芹澤貞治、下原満知子、杉山真一、鈴木博行、鈴木和憲、田村治義、土屋昌之、鶴田龍聖、植松 正、渡邊勝也、山田和典、山本宜司
(5/13 千本浜清掃)

会 長	宮島 賢次	幹 事	山本 宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾 栄一

●スマイル報告

1. 安本 晋様(沼津柿田川RC)：本日は、宜しくお願いします。
2. 成田みちよ：入会記念日のお祝いありがとうございます。
3. 鈴木良則：先週は、休みまして、すみません。
4. 名古屋良輔：4月も100キロ走り、38ヶ月連続目標を達成しました。
5. 名古屋良輔：内田さん、お帰りなさい。
6. 内田逸美：皆様、御心配おかけいたしました、すみません。
7. 久松 但、8. 成田みちよ：所用につき、早退させていただきます。

③インターシティーミーティング

IMホスト：沼津柿田川RC

2018年2月25日 沼津リバーサイドホテル

テーマ：「未来へつなごう」

～若者たちに私たちができること～

<新グループ編成>

次年度ガバナー補佐 沼津RC 山口和一様

静岡第2グループガバナー補佐順番

- | | | |
|----------|----------|---------|
| ①沼津RC | ⑤富士宮RC | ⑨長泉RC |
| ②富士山吉原RC | ⑥御殿場RC | ⑩富士宮西RC |
| ③沼津北RC | ⑦沼津柿田川RC | ⑪新富士RC |
| ④富士RC | ⑧裾野RC | ⑫沼津西RC |

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

ありません。

2. 連絡事項

- ①千本浜清掃に参加の皆様、お疲れ様でした。
- ②5/31のクラブ協議会の次年度活動計画の原稿を、本日中に、事務局へ提出してください。

外部卓話



静岡第3分区
太田昭二 ガバナー補佐

一年間にわたり、RI第2620地区静岡第3分区の事業についてご理解したうえで、ご協力・ご支援いただいたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

<事業報告>

①END POLIOキャンペーン

- ・新富士RC 2017年9月9日「おきがる無料相談所」
- ・富士宮西RC 2017年9月10日 イオン富士宮
- ・沼津RC、沼津北RC、沼津柿田川RC 2017年9月23日 清水町サントムーン
- ・富士宮RC 2017年10月1日 愛鷹広域公園多目的競技場
- ・富士山吉原RC 2017年10月2日 ベネビヴィッツ弦楽四重奏団コンサート
- ・富士RC 2017年10月27日 JR富士駅前

②地区大会 2017年11月11日、12日

焼津グランドホテル・焼津文化会館

ガバナー補佐を務めていた期間はとても幸せでした。と、言いますのは、色々な事業に参加し、色々な場所に出掛け、色々な人々と出会い、ふれあう事で沢山の事を学び、それらを吸収することで自分自身を高め、人間性がより深く磨かれたものと思ったからです。

まさにロータリーは人間修行の場、それを体験できたことは今までで得る事のできない喜びでした。この機会を与えられたことに心から感謝する次第であります。

こうして皆様の前でお話しできたのもガバナー補佐であったからであり、皆様と顔見知りになったことも、これ以上なく喜んでおります。

これからも「それでこそロータリー」のように、どこで会ってもやあと言おうよの声掛けを忘れずに皆様方と接していきたいと思っております。

ありがとうございました。

千本浜清掃

5月13日(日)に当クラブと加藤学園IACの皆さんと一緒に千本浜清掃を行いました。



参加の皆様、ありがとうございました。



Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 卷 38 号
2018 年 5 月 24 日

● クラブテーマ ●
クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■
■ 会員卓話 鶴田 龍聖 君 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1276 例会 会長挨拶◆◆

今日は、S. A. Aについてお話しします。
S. A. Aというのは、Sergeant At Armsの略語で、ロータリーでは会場監督と訳されています。これは中世イギリスの宮廷の官職であって、英和辞典では「英国王室、議会、法廷、社交クラブ等の守衛官」となっているそうです。

当時、リチャード1世がイギリス王位に就いた1189年、自分のそば近く警護の任につく24人の護衛隊を組織しました。この官職をS. A. Aといい、現在でも英国王室の護衛に当たったり、法廷や議会の秩序を維持する役目を果たしています。日本の国会議事堂の衛視などもこれに該当します。At Armsといいますから、当時は武器も携帯していましたが、それが時代とともに職杖(しょくじょう)になり、現在では装飾的な組紐のような綬というものをかけるだけの形式的なものになりました。

ロータリークラブにS. A. Aが正式な役職として定められたのは1906年です。古くから社交クラブには秩序維持のためS. A. Aを置く習わしがあり、ロータリークラブもポール・ハリスの発案でS. A. Aを置いたといわれています。

次に例会でのS. A. Aの役目について述べます。

第一に、例会の時間配分について監督する権限があります。会長の挨拶が長引いた場合、会長に発言中止を命令できるのはS. A. Aだけです。

第二に、元来S. A. A. は、例会中の途中退席を禁止する権限が与えられています。即ち、病気その他特殊の事情によって途中退席する人は、S. A. Aの許可を得なければなりません。途中退席にS. A. Aの許可を求めるのが紳士のマナーに叶うのであります。

ただ、現状は例会出席の60%ルールを誤解して、

例会時間の60%在席すれば途中退席する権利があると思われている方が多い様ですが、先週お話しした通り途中退席は権利ではなく、あくまでも病気その他特殊の事情のある人が出席と認められる最低条件に過ぎません。

この様にS. A. Aの職務は大変重要でありますから、会長・幹事の経験者が就任するのが通例であります。

5月のプログラム

1277回 12:30	ニューウェルサンピア沼津
5月31日(木)	クラブ協議会⑤ 次年度活動計画

6月のプログラム

1278 回12:30	ニューウェルサンピア沼津
6月7日(木)	会員卓話 クラブ管理運営
1279 回12:30	ニューウェルサンピア沼津
6月14日(木)	クラブ管理運営 現理事会 新理事会
1280 回 2:30	ニューウェルサンピア沼津
6月21日(木)	1年を振り返って 会長・幹事
1281回 18:30	ニューウェルサンピア沼津
6月28日(木)	さよなら例会 クラブ管理運営夜間例会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 28 名)

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
1276 回	28 名	23 名	-	82.14 %
1274 回	27 名	19 名	7 名	96.30 %

●欠席者(5名)

穎川ゆう子、井上武雄、神尾栄一、宮口雅仁
上野祥行

会 長	宮島 賢次	幹 事	山本 宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾 栄一



鶴田龍聖 君

●スマイル報告

1. 鈴木和憲：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 山本宜司、3. 鈴木良則、4. 名古屋良輔、5. 本村文一、
6. 成田みちよ 7. 渡邊勝也：鶴田さん、本日の卓話、宜しくをお願いします。
8. 久松 但：所用につき、早退させていただきます。
9. 永井克彦：来週欠席します。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

- ①富士宮RC
5月28日(月)→26日(土) 近江八幡交歓例会
- ②富士宮西RC
5月25日(金)→26日(土) 岡谷エコーRCとの交流例会
- ③富士RC
5月30日(水)休会 MU受付 ホテルグランド富士 11:30-12:30

2. 連絡事項

- ①6/28のさよなら例会の出欠席をご記入ください。

臨時理事会報告

1, 報告事項

1278回の会員卓話の卓話者は内田逸美君

2, 協議事項

- ①6月プログラム変更の件 クラブ管理委員長 鈴木和憲 君
1279回例会の会員卓話を外部卓話 河野靖人様(芹澤和子君友人)に変更→承認
- ②さよなら例会予算の件 クラブ管理運営委員長 鈴木和憲 君→承認
- ③6月2日(土) 新旧会長幹事会費の件
・新会長・幹事、旧会長・幹事 会費→承認
・沼津リバーサイドホテル 18:00
- ④退会希望者の件
定款第15条8節に従い、文書での退会届の提出を促すことにする。
以上

◎世界三大宗教 キリスト教、仏教、イスラム教

◎仏教の開祖の釈迦牟尼世尊・生まれた場所はインドに近いネパール南部のタラーイ地方

◎19歳結婚 29歳出家 35歳成道(悟る) 80歳入滅
「釈尊が成道し仏教を説かれる時の御心は？」

◎一切の生きとし生ける者は幸福であれ
安穩で在れ、安樂で在れ

他人を欺いてはならない、たとえ何処にあっても他人に、苦痛を与える事を望んではならない
あたかも母が、我が子を命を懸けて守す様に一切の生きとし生ける者に対しても
無量の慈しみの心をおこすべし。

◎仏教が教える人生の道標

人生は深い縁の不思議な出会い、釈尊の説かれた輪廻の不思議が今の私を生かして行 巡り合いの不思議に手を合わせよう。

◎仏教の教えの根本は「原因と～結果」である。

◎人生は、一声から始まります。

「オギャア」「ア」であり、人生を閉ざす時は、「ウン」。これを「アン」の呼吸と言い、世界中日本語で産まれる。

◎出会いも一言葉、家庭の崩壊も一言葉・・・
「こそ」

◎稲荷の教えは、人生道

◎示教利喜

(ロータリーの先輩会員様は新会員の為に・・・)



Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 卷 39 号
2018 年 5 月 31 日

● クラブテーマ ● クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■ ■ クラブ協議会⑤ 次年度活動計画 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1277 例会 会長挨拶◆◆

皆さん、経営学者のピーター・ファーディナンド・ドラッカーをご存知と思いますが、彼が言う、上に立つ者が持つべき唯一の資質である「真摯」についての解説を紹介します。

「成功している組織には、あえて人を助けようとせず、人付き合いもよくない上司が必ずいる。愛想が悪くいつも不愉快そうでありながら、だれよりも多くの人たちを教育し育成する人、最も好かれている人よりも尊敬を得ている人がいる。部下と自らに厳しくプロの能力を要求する人がいる」そのような人は、高い目標を掲げ、その実現を求める。誰がどう思うかなど気にしない。何が正しいかを考える。頭のよさより真摯さを重視する。

ドラッカーは、この真摯さなる資質に欠ける者は、いかに有能で人付き合いがよくとも、組織にとって危険な存在であり、上司として、紳士として不適格であるという。真摯さに欠ける者が跋扈(ばっこ)するとき、組織は死への道をたどる。

リーダー的資質など存在しないと断言するドラッカーが、リーダーが持つべき唯一の資質として挙げるものが、この真摯さという資質である。人は人の不完全なることを許す。ほとんどの欠陥を許す。しかし一つの欠陥だけは許さない。それが真摯さの欠如である。

また、ドラッカーは「自分の子をその人の下につける気になれますか」と聞く。

「学ぶことのできない資質、習得することができず、もともと持っていなければならない資質がある。他から得ることができず、どうしても自ら身につけていなければならない資質がある。才能ではなく真摯さである」とも言っています。

経営の神様と称された松下幸之助氏は、ビジネスパーソンには「素直な心」が大切だと説いています。

「素直な心」を“寛容にして私心なき心”、“広く人の教えを受ける心”などと定義しています。松下氏の「素直な心」は、ドラッカーが重要性を説いた「真摯(真摯さ)」に通じる部分があると言えると思います。

会員の皆様は、私以外漏れず「真摯」を持ち合わせているに違いありません。今日の次年度へ向けてのクラブ協議会が真摯な協議を成されます様お願い致します。

6月のプログラム

1278 回12:30 6月7日(木)	ニューウェルサンピア沼津 会員卓話 クラブ管理運営
1279 回12:30 6月14日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ管理運営 現理事会 新理事会
1280 回12:30 6月21日(木)	ニューウェルサンピア沼津 1年を振り返って 会長・幹事
1281回 18:30 6月28日(木)	ニューウェルサンピア沼津 さよなら例会 クラブ管理運営 夜間例会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告(会員総数 28 名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1277 回	28 名	20 名	-	71.43 %
1275 回	28 名	24 名	1 名	89.28 %

●欠席者(8名)

穎川ゆう子、井上武雄、神尾栄一、永井克彦
下原満知子、田村治義、内田逸美、上野祥行

会 長	宮島 賢次	幹 事	山本 宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾 栄一

●スマイル報告

1. 山本宜司：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 重光 純：本日の協議会、よろしくお願ひいたします。
3. 鈴木良則：次年度、委員長の皆様、協議会、宜しくお願いします。
4. 鶴田龍聖：27日のゴルフ部会で、奇しくも老体が優勝とドラコンを頂きました。
有難うございました。
5. 重光 純：前回例会で、遅刻しましてすみませんでした。
6. 山田和典：次回から、2週欠席します。

クラブ協議会 次年度活動計画



次年度 幹事 重光 純 君

本日のクラブ協議会において、次年度の会長方針、各委員会の事業計画及び予算についての報告及び協議がなされました。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①富士RC

6月6日(水) 移動例会 MU受付：ホテルグランド富士
11:30-12:30

2. 連絡事項

- ①6月のロータリーレートは、1ドル=110円です。
- ②クラブ満足度アンケートを、ご提出ください。

最初に鈴木和憲次年度会長より、次年度の会長方針「今、新しいことに挑戦しよう」が発表され、次年度からは静岡第3分区から静岡第2グループに編成が変更されたこともあり、これをきっかけに何か新しいことに挑戦したいという次年度会長の意欲が表明されました。そして、その例として、米山奨学生の世話クラブになることの検討、様々な奉仕活動への参加、会員増強を通じた会員の多様性の推進、ポリオ撲滅活動などの奉仕活動を通じたロータリーのイメージ向上などが説明されました。

現：臨時理事会報告

1. 協議事項

①上野祥行君の退会の件

平成30年5月31日限りで退会する旨の退会届を受理する。

②奉仕プロジェクト委員会予算の件

予算の残余金を一般会計に組み入れることを承認する。

③パソコンの購入の件

事務局用のパソコンを購入することを承認する。

各委員会からの事業計画の報告では、クラブ管理運営委員会の久松但委員長、公共イメージ向上委員会の杉山真一委員、会員増強維持委員会の宮島賢次委員長、ロータリー財団委員会の芹澤和子委員長、S・A・Aの土屋昌之君（いずれも次年度）から、それぞれ各委員会の次年度の事業計画についての報告がなされ、最後に次年度会計の渡邊勝也君より次年度の予算報告がなされました。なお、奉仕プロジェクト委員会につきましては、次年度幹事である私から説明させていただきました。

最後に鈴木和憲次年度会長より総評がなされ、次年度の活動について会員の皆様の協力をお願いして終了しました。

新：臨時理事会報告

1. 協議事項

①理事補選の件

鈴木博行君を選任する。

②来年度の慶事のプレゼントの件

以下のとおり承認する。

- ・会員誕生日 オクトン スポーツタオル青 (144-1255)
- ・入会記念日 オクトン 珪藻土コースター (159-3461)
- ・家族誕生日 花キューピット

次年度は「今、新しいことに挑戦しよう」という会長方針のもと、何か新しいことに挑戦することが期待されておりますので、会員の皆様の積極的なご参加とご協力をお願い致します。